

二〇一九年二月二五日

チャイム鳴り全校生徒雪遊び
行きつけの主治医に貰ふ愛のチョコ
薬局の常連さんへ愛のチョコ
スノボーの空中遊泳風光る
身に入むや兵士の墓に罅走る

二〇一九年二月一四日

堵列せる百基の墓に下萌ゆる
朝市女身を切る風に鱒さばく
春兆す屋根修復の槌の音に
頑張れとりハビリの道笹子鳴く
天満宮犇めく絵馬や梅まつり

二〇一九年二月一三日

カラフルな小鉢並べて花舗の春
霜の道狼藉めける鳥の跡
焼き牡蠣の弾けて吾を一喝す
一筋の春水走る神の森

二〇一九年二月二二日

観音の裳裾つづきに菜の花黄
春の鳶真澄の空をほしいまま
しだれ枝のバスに触れもす梅の里
夫風呂を上がるころかと栄螺焼く
孕み猫吾を一瞥してゆきぬ

二〇一九年二月二一日

啓蟄や重責終へて肩軽し
呉線の今日の人出や牡蠣まつり
癌告知知らすメールに春憂ふ
下萌のジャングルジムに子らの声
寒卵良きことあらむ黄身ふたつ

二〇一九年二月一〇日

干し物の広ぐまもなく凍りけり
村あげて奉納神事宮の春
父さんが遺影の母へ愛のチョコ
春風が頭撫でゆくトロッコ車
供華とせし父の遺愛の梅にほふ

二〇一九年二月九日

吊り橋をはさみて梅の遅速かな
ニタ三言交はして路地の春寒し
猫柳纏れほぐれつ風光る

毎日句会みのある選・二〇一九年二月一七日

智恵子	やよい	よし女	もとこ	ぼんこ	ぼんこ	なつき	せいじ	智恵子	智恵子	満天	愛正	董雨	菜々	ぼんこ	三刀	さつき	よう子	こすもす
明日香	智恵子	せいじ	たか子	やよい	よう子	明日香	なつき	愛正	菜々	宏虎	満天	はく子						